

# 新冠町立認定こども園ド・レ・ミ 木下園長へのインタビュー

今月号で3回目となる子育てに関する特集記事は、認定こども園ド・レ・ミの木下園長と子ども発達支援センターの長谷川センター長のインタビューをご紹介します。

まず初めに、認定こども園の木下園長から、「現代の子育てと問題点」や「子育て支援センター」の役割、「こども園の教育・保育」や「新しい取り組み」などについて、お話しをしていただきました。



新冠町立認こども園ド・レ・ミ園長  
木下 英利 (きのした ひでとし)  
趣味：新冠川での川釣りです！

## 地域に支えられたこども園

私は、38年間、日高管内の小学・中学・高校で教員として働き、静内第3中学校で校長として2年間勤務し退職を迎えました。その後、平成28年4月に認定こども園ド・レ・ミの園長として赴任しました。

こども園に来て、まず驚いたことは、ここの恵まれた環境です。園の隣には整備された公園があり、少し歩くとレ・コード館や図書プラザがあるなど、子育て環境がとても良いと感じました。そして、もう一つ驚いたことは、町内に子育てや園運営に理解がある方がたくさんいることです。

町内の方々の協力により、園児はピーマンの収穫や栗ひろい、ブドウ狩りなどの体験ができ、また、定期的な

## 現代の子育てと問題点

絵本の読み聞かせや高齢者施設での交流会なども子ども達の貴重な経験となつていきます。  
テレビでは、「保育所はうるさいから建設反対!」という報道を目にすることもありますが、ここは地域に支えられたこども園であると感じています。

園で勤務するようになり、0歳から6歳までの教育や保育・家庭環境は、子どもの人格形成を培い、その後の子どもの成長に大きな影響を与える重要な時期であるということに改めて実感しています。

そして、この人格形成に重要となる就学前の家庭環境は、それぞれの親の考えにゆだねられることとなります

核家族化や親のつながりが弱くなることで、周りに頼ることもできず、親がゆとりをもてない状況が生まれているように感じます。

## 子育てのコミュニティとして

現代の子育て環境で欠けていることは、親同士が子育ての悩みや情報を交換し、他の親子から子育てを学び、自分の子育てを客観的に振り返る環境で、それを補うために、子育て支援センターが「地域の子育てのコミュニティ」の役割を担う必要があると考えます。

この子育て支援センターに、子育てをする親が集い、交流し情報交換を行うことで、自分の子育てを客観的に見返すことができ、また、センターのスタッフに子育ての悩みや支援制度などについて相談することもできます。

また、親は、子どもが小さいうちに子どもとの向き合い方を学ぶことで、その後の成長過程で起きる問題にも真っ直ぐに向き合えるようになります。

このことから、子育て支援センターは、子育ての基礎を学ぶ場所としてとても重要な施設だと考えています。



## ド・レ・ミの教育・保育について

認定こども園ド・レ・ミは、町内唯一の教育・保育施設として、多い時には170名を超えるお子さんをお預かりしています。

毎日の保育の中で一番大事にしていることは、一人ひとりの子どもとの関係づくりです。

子どもはそれぞれに個性があり、発達にも差があり、家庭環境も様々ですが、園では、全ての園児が安心して生活できるよう声掛けやスキンシップを大事にしています。

そして、当園の生活を通して、子どもに身に付けて欲しい力は「基本的な生活習慣」です。

私の経験から、小学校に入学してから伸びる子どもは、「行儀がよい」、「集中して取り組める」、「きちんと話を聞ける」、「生活にけじめをつけ、気持ちの切り替えができる」という子どもであると考えています。

他の園では、外国語やひらがな、足し算や引き算などの早期教育を取り入れるところもあり、その様な教育プログラムの良さもあるかと思いますが、当園では「子どもがのびのびと生活できる環境」を大事にしながら、基本的な生活習慣の定着を一番に考えて取り組んでいきます。

## 教育プログラムの充実に向け

開設7年目を迎える当園では、これまでの保育主体のカリキュラムに

教育の要素を加え、さらなる内容の充実を図ることとします。

平成29年度については、「音楽」・「造形」・「運動」・「リズム遊び」の4つのメニューを強化していきます。

具体的には、「音楽」ではこれまでの歌や楽器の演奏の他に「メロディオン」を取り入れたプログラムを展開します。

また、「運動」では、これまでのマラソンや体力づくりのメニューに「縄跳び」を加え、遊びを通じた体力の向上を図ります。

そして、このメロディオンや縄跳びを使った取り組みをこども園だけで終わらせるのではなく、小学・中学とも連携させ、新冠だからこそのできる幼小中が連携した取り組みを進めていきます。

今、子ども達を取り巻く環境は大きく変化しており、今後、ますますこども園のニーズが高まっていくと思われまます。

当園としては、利用者の声に耳を傾け、親にとってもお子さんにとっても魅力ある園運営を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



## 新冠町立認定こども園ド・レ・ミ

### ・子育て支援センター

開館時間

月～土 9:00～12:00  
13:00～17:00

(一時的に保育が必要な場合、子どもをお預かりできます。詳細は、問い合わせください)

・問い合わせ

新冠町字東町18番地の2  
子育て支援センター ☎0146・47・4525  
認定こども園ド・レ・ミ ☎0146・47・2489

### ・教育時間 (幼稚園機能)

月～金 9:00～13:00

(夕方4時まで保育を行う、預かり保育制度もあります)

### ・保育時間 (保育所機能)

月～土 7:30～18:00

(早朝・延長保育時間含む)

## 問題②「親にゆとりが無い」

親が子どもに対して「こうして欲しい」「これをされると嫌だ」という思いが強く、子どもが思うようには動かないと、すぐに叱りつける場面を見かけることがあります。

子どもは、経験を重ねることでできることが増え、少しずつ成長していきませんが、親にゆとりが無いと、いつしかこの基本的なことが忘れ去られているのではないかと感じます。

が、「核家族化」や「親同士のつながりの希薄化」が親を孤立させ、いくつかの問題を引き起こしていると感じています。

昔は、生活することに必死で、現代と比較して子育て環境が良かったとは決して言えません。しかし、昔の親はその状況下でも、できる限り子どもを中心に生活を営み、子どもと向き合っ

て生活をしていました。  
しかし、現代では、親がゲームに夢中だったり、授乳をしながらスマートフォンを見ていたり、また、子どもにテレビを見せて親は携帯をいじっているなど、親が自分の遊びや楽しみを優先させ、きちんと子どもに向き合えていない状況が見受けられます。

そして、親同士のつながりが無いことで、自分の子育てに疑問を感じることも客観的に判断することもできず、子育ての良し悪しがわからなくなってしまうように感じます。